

平成29年度 施策評価シート

[施策No.] [施策名]		[57] 在宅サービスの充実			主管	福祉部 障害福祉課
施策の概要	長期総合計画体系	[将来像] Ⅲ 暮らしやすいまち [基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小柱] (5) 障害者の地域生活を支える支援の充実				
	10年後のめざす姿	● 多様なニーズに対応したサービスが質・量ともに確保され、障害者が住み慣れた地域で在宅生活を継続することができています。				
	主な取り組み	① 障害者移動支援	⑥			
		② 日中活動の場の整備促進	⑦			
		③ 医療的ケアの充実	⑧			
		④	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		障害福祉サービスの満足度	35.7% (25年度)	増加	—	40.2%
		生活介護施設箇所数	4か所	7か所	4か所	4か所
評価結果	B	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		移動支援の利用時間数は年々増加しており、28年度の延べ利用時間数は行政計画事業量に達しなかったものの、27年度実績を上回っており、障害者の自立生活及び社会参加の促進につながっている。また、27年10月より、医療的ケアを行う短期入所事業所への補助事業を開始し、徐々に利用件数が増え、家族の介護負担の軽減が図られている。 施策の指標である障害福祉サービスの満足度は、前回の障害者実態調査結果と比較すると4.5ポイント上昇しており、障害福祉サービスの充実及び適正な支給が行われている。 しかし、障害者の日中活動の場である生活介護施設の整備については、建築基準法や消防法等の基準に合致しないなどの理由で、行政計画どおりの箇所数には至っていないため、今後は、区有地の活用も含め積極的に設置を検討する必要がある。				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある					
	学識経験者からの意見	医療的ケアを提供できるようにするため、短期入所事業所等に対して、看護師の件費手当を補助することを通じて、家族を支援することが可能となっている点を評価する。 生活介護施設の整備については、計画どおりに進められていないため、要因をしっかりと検証してほしい。また、施設整備ができるようになって、人材確保ができないということがないように行政としても後方支援をする必要がある。				

施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(177)障害者移動支援	障害福祉課、保健予防課	延べ利用時間数 20,617時間	26,600時間	目標	23,100時間	24,800時間	26,600時間
					実績	23,332時間	23,511時間	24,273時間
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
2	(178)心身障害者(児)ヘルパー養成	障害福祉課	ガイドヘルパー養成人数 29人(累計420人)	90人 (累計510人)	目標	30人 (累計450人)	30人 (累計480人)	30人 (累計510人)
					実績	21人 (累計441人)	29人 (累計470人)	30人 (累計500人)
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
3	(179)日中活動の場の整備促進	障害福祉課	—	支援施設数 2か所	目標	1か所	—	1か所
					実績	0か所	0か所	0か所
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
4	(180)医療的ケアの充実	障害福祉課	—	短期入所等における医療的ケアの充実 推進	目標	推進	推進	推進
					実績	推進	推進	推進
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			